

## 【現在の状況】

- ◆ 7日間毎の新規陽性者数は減少傾向にある（3月15日時点の前週増加比：約0.81倍）。
- ◆ 医療提供体制について、重症病床使用率は4割未満で推移。確保病床使用率は5割を超えているものの使用率は減少傾向（2月21日：81.8%⇒3月15日：57.7%）。
- ◆ また、重症化リスクの高い高齢者に対するワクチン接種については、3月末までに希望する方への接種（高齢者施設含む）が概ね完了する見込み。（3月15日時点の65歳以上の3回目接種割合：69.0%）

【参考】これまでの感染動向を踏まえた今後の対応の考え方について（案）抜粋（第14回（令和4年3月11日）新型コロナウイルス感染症対策分科会）  
2 第6波のまん延防止等重点措置終了の考え方

- ・病床使用率、重症病床使用率が50%を超えていても、急激な増加が見られず、かつ、新規陽性者数が減少傾向であり、今後、病床使用率、重症病床使用率が減少し、医療への負荷が低下する見込みであれば終了できるのではないか。

**まん延防止等重点措置を実施すべき期間（現在：3月21日まで）の再々延長は求めない**

- ◆ 今後、BA.2系統への置き換わりによる感染再拡大のリスクがあることや、普段会わない方との接触の機会が増える春休みや年度替わりの時期を迎えることから、引き続き、感染状況を注視し、感染防止対策を徹底することが必要。
- ◆ 感染が再拡大した場合の、重点措置の再適用基準を示すよう国に求める。